

くらしの音

高知県橋梁会は今年の4月で創立35周年を迎えた。これまでを振り返り「記録にあるだけで実に377人の方に講演を頂いている。この中には専門分野では日本を代表する権威者、また官・民を問わずさまざま方がおり、多くの人に支えられてこの会があるのだなど実感している」と改めて感謝の念を抱く。

現在の法人会員は35社。主な活動は毎年4月、8月、12月の研修会、6月の現場見学会など。研修会では5、6人

の講師から技術研究発表、工
事報告、技術基準の解説、新
1年にはこうした活動から土

工法や新製品の紹介などがあ
り、会員と非会員合わせて毎
回約80人が参加し活発な討議
が行われている。また201
1年にはこうした活動から土
木学会四国支部から地域貢献
賞を受賞した。
会の原点は「県内でも橋梁
の設計が出来るように、みん
なで勉強しようではないか」

時代の変化に応じた会の発展を



高知県橋梁会会長

うしろ たけし
右城 猛氏

＝プロフィール＝

- ◆1950年5月生まれ(62歳)、
本山町出身
博士(工学)、技術士(建設/
総合技術監理部門)
- ◆第一コンサルタンツ代表取
締役社長。岐阜大学非常勤講
師、日本技術士会四国本部副
本部長、高知県橋梁会会長
- ◆趣味：旅行

と呼び掛け
から。昼食
時間を惜し
んでの会議
など運営に
苦労しなが
ら、コツコ
ツと活動を
続けてきた。
「先人

の熱い思いを受け継ぎ、時代
の変化に応じた方法で会の発
展に尽力していきたい」と意
欲をみせる。また歴代の会長
が信条とした「立派な技術者
である前に立派な人間でなけ
ればならない」を念頭に「技
術を学ぶ場は他にもある。人
間としての成長を促す、その
教えにも力を入れていきたく
い」とさらなる高みを望む。
時にはお酒を交わしながら、
会員が業種や年齢の垣根を越
えて気楽に意見を交わし合
う。今年は新たに6社が会員
にも加わった。「人が集まる
魅力」がこの会にはある。
(高知支局「山下雄一」)